

# *Shakespeare Newsletter*

日本シェイクスピア協会会報

2015 No. 2

(通巻 Vol. 55 No. 2)

# Shakespeare Newsletter

日本シェイクスピア協会会報

2015 No. 2  
(通巻 Vol. 55 No. 2)

## 目次

第54回シェイクスピア学会を終えて(会長挨拶)	1
2016年度総会とシェイクスピア祭のお知らせ	2
第55回シェイクスピア学会 研究発表ならびにセミナーメンバー募集要項	3
第11回シェイクスピア・ワークショップメンバー募集要項	4
Martin Ingram教授セミナーメンバー募集要項	5
2016年度日本シェイクスピア協会委員候補者推薦会議発足のお知らせ	6
委員候補者推薦のお願い	6
日本シェイクスピア協会賛助会員名簿	7
日本シェイクスピア協会奨励賞の創設について	8
国際交流フェローシップ募集のお知らせ	8
ホームページ掲載内容に関するお知らせ	8
日本シェイクスピア協会事業運営へのご寄附について	9
2016年度会費納入のお願い	9
NOTICE BOARD	10
<i>Shakespeare Journal</i> ならびに <i>Shakespeare Studies</i> 応募用 メールアドレス変更のお知らせ	10

## 第 54 回シェイクスピア学会を終えて

井出 新

第 54 回シェイクスピア学会が北海道教育大学函館校のキャンパスで 10 月 10 日、11 日にわたり開催されました。学会初日は、審査を通過した質の高い研究成果が 13 名の会員によって発表され、2 日目の午前中はフロリダ大学教授 Richard Burt 先生の特別講演「Reading Madness in the Archive: Shakespeare's Unread 'Letters'」が行われました。2 日目の午後に行われた 2 室のセミナーと第 10 回シェイクスピア・ワークショップでは、最新の研究成果を盛り込んだ活発な議論が展開されました。

毎回、学会に参加して深く印象に残るのは、初々しい若手研究者から第一線でご活躍の重鎮まで、様々な世代の研究者が、新しい研究分野を切り開いて研究を進めようとする熱意と誠実さです。私自身これまで、発表の内容にだけでなく、熱意や誠実さという発表者の姿勢に常に触発され、刺激を受けてきましたし、さらに懇親会でお互い励まし、励まされ、あるいはムチを入れたり、入れられたりとして、そうしたことが学会の意義なのだと思っております。50 年を越えて続けてこられたシェイクスピア学会が、そうした熱意と誠実さを共に分かち合う場として、あるいは継承していく場として、これからも連綿と続いていくことを祈ってやみません。

そういう意味で学会は貴重な機会ではありますが、そのために会場を提供してくださるホストの大学の先生方には、大変な御苦労と忍耐をお願いしなければなりません。ただ、これは本当に有り難いことですが、毎回、お願いした大学が快く学会をお引き受けくださり、開催のためにご尽力くださいます。第 54 回学会においては、北海道教育大学函館校キャンパス長でいらっしやる星野立子先生、函館英語英文学会会長の上山恭男先生、同じく同英文学会役員の菅原健太先生、そして献身的に学会をお手伝いくださる大学関係者の方々のサポートをいただき、また函館英語英文学会からは経済的ご支援をいただきました。この場をお借りして心からの御礼を申し上げます。

さて、学会のご挨拶やフォーラムで報告させていただいたことですが、改めてここでも繰り返させていただけます。先ず、前年度から企画されてきた新しいプロジェクト「日本シェイクスピア協会奨励賞」が新たに設けられることとなりました。これは *Shakespeare Studies* 或いは *Shakespeare Journal* に掲載された新進研究者の優秀論文に対して与えられる賞ですが、是非、多くの若手研究者に力のかもった論文をご投稿いただきたいと思っております。

また、シェイクスピアの没後 400 周年と協会創立 55 周年記念を兼ねて日本語版の記念論文集と英語版の *Shakespeare Studies* 拡大号が刊行される予定ですが、会員からの多くのご投稿をいただき、順調に出版に向けての準備が進行中です。特に記念論文集は日本女子大学の佐藤達郎先生が編集委員長をお引き受けくださり、現在編集委員会が査読を行っているところです。佐藤先生と編集委員の先生方にはこの場を借りて御礼申し上げます。

今年の没後 400 周年の学会は 10 月に慶應義塾大学の三田キャンパスで開催の予定です。招聘講師はオックスフォード大学ブレイズノーズ・コレッジの名誉教授 Martin Ingram 先生です。Ingram 先生はイギリスの著名な歴史学者であり、*Church Courts, Sex and Marriage in England, 1570-1640* をはじめ、ジャリヴァリ研究など、シェイクスピア時代の文化や社会に精細に切り込んでいく研究者ですが、学会では「Shakespeare, Sex and Punishment」というテーマで特別講演を行っていただく予定です。どうぞご期待ください。

最後に一つだけ個人的な感慨を付け加えさせていただきます。昨年 6 月に文部科学省が国立大学改革の一環として、文系・教員養成系の学部・大学院の廃止を含む見直しを要請しました。これがかなりの波紋を呼んだこともあって、現在、文科省や経団連が慌てて、「廃止」などと言ったりした覚えはないと、自分たちの言葉を見苦しく否定しておりますが、これまで行われてきた大学改革の流れからすれば、廃止を含む見直しは文科省や経団連の悲願のように思われます。さらに、安倍首相が議長として参加し、主要関係や専門家 12 人で構成された「まち・ひと・しごと創生会議」において、文科大学を基本的に専攻すか縮小するという提案がなされていること、また地方大学では、シェイクスピアや文学概論を教えるのではなく、大学がある地域の観光名所・歴史・文化について英語で説明できる能力を付けさせることが必要だと話し合われていることにも、彼らの考え方の地金が現れています。

こうした考え方の根底にあるのは、人を生かし、動かし、活性化させるものは金であり、生産性であり、経済効果だという考え方です。だからこそ学問も社会に貢献する必要があるのだ、と。勿論そうした考え方はわからなくもないのですが、その考え方に欠落している大事なことがあります。それは、人を生かし、人を動かし、活性化させるものは、経済や政治より前に、結局のところ「言葉」なのだということです。言葉を疎かにするところに、他者への理解や自己の表現はありません。しかし最近では政治や社会において、我々が「言葉」に置いている価値や希望がますます曇られ、愚弄される場面を多く見かけるようになりました。大変残念なことです。こうした時代にあつてこそ、シェイクスピア協会が、シェイクスピア研究の成果を分かち合う集団であると同時に、「言葉」をもう一度取り戻し、「言葉」の価値や希望をも分かち合う共同体となるよう、さらに努力して参りたいと思っております。

For common are the peacemakers on earth. (2 Henry VI, 5.2.)

## 2016 年度総会とシェイクスピア祭のお知らせ

2016 年度の総会は下記の通り行われます。皆様のご出席をお待ちしております。

日時：2016 年 4 月 23 日(土) 12:00 ～ 12:30

場所：慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール [東京都港区三田 2-15-45]

最寄駅からのアクセス

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| ■ JR 山手線・JR 京浜東北線   | [ 田町駅 ] 下車 徒歩 8 分  |
| ■ 都営地下鉄浅草線・都営地下鉄三田線 | [ 三田 ] 駅 下車 徒歩 7 分 |
| ■ 都営地下鉄大江戸線         | [ 赤羽橋駅 ] 下車 徒歩 8 分 |

また本年度のシェイクスピア祭を、日本シェイクスピア協会・日本英文学会主催（慶應義塾大学文学部共催）にて、下記の通り催します。一般公開（事前予約不要）で無料です。お知り合いをお誘いのうえ、奮ってご参加ください。

日時：2016 年 4 月 23 日(土) 13:00 ～ 16:30

場所：慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

13:00 ～	ご挨拶
13:10 ～	対談 「ふたつの『リア王』」 講師：佐藤 信 氏（「座・高円寺」芸術監督） 聞き手：近藤 弘幸 氏（東京学芸大学准教授）
15:00 ～	講演「シェイクスピア劇の小唄—400 年前の艶歌、怨歌、哀歌」 講師：中野 春夫 氏（学習院大学教授）

\*\*\* 講演者プロフィール\*\*\*\*\*

### 佐藤 信(さとう まこと) 氏



1943 年生まれ。劇作家、演出家。66 年に劇団「自由劇場」を設立。68 年に「演劇センター 68」（現在、劇団黒テント）の結成に加わり、以後 20 年間、大型テントでの全国移動公演を継続。初期の代表作『喜劇昭和の世界三部作』（1973 年～79 年）をはじめ、独特な幻想的文体によって社会や歴史を批評する戯曲を執筆している。演出家としては、自作のほか、ルイジ・ルナーリ（伊）、ベルナルド・マリー・コルテス（仏）、郭宝昆（シンガポール）、エドワード・ボンドなど、海外劇作家作品の日本初演に取り組んでいる。80 年代より東南アジアを中心に海外の現代演劇との交流を深める。劇団を中心にした演劇活動のほか、オペラ、舞踊、結城座の糸操り人形芝居、ショーやレビューと、さまざまな分野の舞台作りに参加。アジア演劇、演劇ワークショップ、演劇の公共性、演劇と教育などについての発言と実践活動も積極的にこなしている。世田谷パブリックシアターの劇場監督（1997～2002 年）を経て、2009 年より座・高円寺初代芸術監督として現在に至る。個人劇団「鴉座」の主宰でもある。2006 年には、鴉座でハイナ・ミュラー作の『ハムレット／マシーン』美術・演出。シェイクスピアの『リア王』は、『リア王の悲劇』（2004 年、世田谷パブリックシアター、演出・美術）と、『リア』（2013～15 年、座・高円寺、台本・演出）と二つの舞台を手がけている。

### 中野 春夫 (なかの はるお) 氏

1957年生まれ。学習院大学文学部英語英米文化学科教授。国際演劇評論家協会、日本英文学会に所属。日本シェイクスピア協会前会長。イギリス・ルネッサンス期の演劇を中心として、演劇作品の文化史的背景を幅広く論じてきた。大学では、身体表象に関する歴史的な文化差異を演劇作品や図像、絵画などから系譜学的、受容史的に分析。

主要著書：『シェイクスピアは彼らの同時代人』（『英語青年』連載）、『シェイクスピアの英語で学ぶここの決めゼリフ』（マガジnhaus）、『恋のメランコリー シェイクスピア喜劇世界のシミュレーション』（研究社）。

主要訳書：『魔術の帝国 ムルドルフ二世とその世界』（平凡社）『英国ガーデニング物語』（集英社）『イングランド社会史』（共訳）（筑摩書房）など。



### 近藤 弘幸 (こんどう ひろゆき) 氏

1969年生まれ。東京学芸大学准教授。日本シェイクスピア協会委員。専攻は英語演劇。ジェンダー・セクシュアリティ、アダプテーション、日本のシェイクスピア受容史などの観点から幅広い研究活動を繰り広げている。佐藤信氏とは『リア王の悲劇』（2004年、世田谷パブリックシアター）ならびにエドワード・ボンドの『戦争戯曲集・三部作』（2014年、座・高円寺）において翻訳家として協働している。

## 第55回シェイクスピア学会 研究発表ならびにセミナーメンバー募集要項

第55回シェイクスピア学会は、2016年10月8日(土)、9日(日)の2日間にわたり、慶應義塾大学三田キャンパスにおいて開催されます。つきましては、下記により研究発表ならびにセミナーメンバーを募集いたします。応募規定をご覧のうえ、奮ってご応募ください。

### 記

#### ◇研究発表【応募要項】（締め切り日にご注意ください）

1. 一般研究とし、テーマを問いません。ただし、未発表のものに限ります。
2. 応募者は研究発表概略(和文 2,000～4,000字、または英文 800～1,500語)を5部、ご提出ください。
3. 書式はA4横書とし、ワープロ使用の場合は行間を十分に取ってください。
4. 学会プログラム資料原稿用に、研究発表要旨(和文 400字、または英文 150語以内)を1部ご提出ください。
5. 簡単な経歴書を1部添えてください。
6. 応募者の氏名、所属・肩書き、連絡先住所・電話番号・電子メールアドレスとともに、上記発表概略、要旨、経歴書を協会事務局あてに郵送してください。
7. 応募原稿は返却いたしませんのでコピーをお残しください。
8. 締め切りは**2016年6月17日[金](事務局必着)**です。
9. 審査結果は7月中旬に応募者あてに通知いたします。
10. 郵送先は、日本シェイクスピア協会事務局にお願いします。
11. 日本シェイクスピア協会会員であること(=当該年度の会費納入者)が応募の資格です。

◇セミナー：学会2日目に以下の2つのセミナーを企画しました。

【応募要項】(締め切り日にご注意ください)

1. 下記セミナーのうち1つのみ応募できます(応募は会員に限ります)。
2. ご希望のセミナーテーマを明記のうえ、ご発言の主旨を、日本語200字以内(または英語100～150語)にまとめ(書式自由)、氏名、所属・肩書き、連絡先住所・電話番号・電子メールアドレスとともに、協会事務局あてに郵送してください。
3. 応募締切は**2016年5月9日[月](事務局必着)**です。
4. 各セミナーとも、コーディネイターと協議のうえ、メンバーの数を限ることがあります(コーディネイターは会員外のゲストを1名入れることができます)。
5. 応募の採否については6月下旬までに本人宛に通知します。
6. セミナーメンバーに決定した方は、研究発表に重ねて応募することはできませんので、ご注意ください。

なお、各セミナーの①コーディネイター、②テーマ、③指針は次の通りです。

《セミナー1》

①佐々木 和貴 (秋田大学教授)

②先人たちはシェイクスピアをどう読んできたのか

③ シェイクスピアと対峙した近世の先人たちは、その作品を飽くことなく絶賛し、また時に厳しく批判し、さらには大胆に書き換えてきました。彼ら/彼女らの書き残した言葉の大半は、今では広く読まれているとは言い難い状況にあります。しかし、それらは本当に、すでに乗り越えられた、あるいは古びて読むに値しないものなのでしょうか。

本セミナーでは、シェイクスピアのテキストをとりまくもう一つの膨大なテキスト群とも呼ぶべき、この先人たちのシェイクスピア批評(あるいは改作)を取り上げます。一見、迂遠に思えるかもしれませんが、彼ら/彼女らの仕事をあらためて精査することで、21世紀の私たちにとってかえって見えにくくなっている、作品への新しい視座が設定できるのではないかと考えてのことです。

没後400年という区切りの年に、先人たちの「肩の上に乗って」、シェイクスピアという広大な森をより遠くまで見渡せれば幸いです。

《セミナー2》

①住本 規子 (明星大学教授)

② The Second Folio Revisited

③ Among the four (or five, we should say) siblings of the famous 'First', the Second Folio, despite having been published a decade before the closure of the London theatres, has enjoyed so little visibility that the world lacks even a census of the extant copies to begin with. Taking as its starting point the awareness that the Second Folio has not yet been properly appreciated for itself, this seminar will invite participants to share their renewed interests in and approaches to it and hopes to (re)kindle scholarly passion for the study of the Second Folio.

The topics to be discussed will range widely from its materiality as a book to the textual experiences it provides for each particular play. Potential subjects for discussion might include "How does its text of a particular play tend to provide different experiences and perceptions of that play?", "How did the printers and publishers of this Folio affect its publication in 1632?", "What did the editor(s) do to re-shape Shakespearean play texts and why did they do so?", "What kind of Shakespearean readership did it support historically?" or "What does a specific copy suggest about its reader(s)?" to name only a few examples.

## 第11回シェイクスピア・ワークショップメンバー募集要項

学会2日目に、シェイクスピア・ワークショップを下記の要領で開催いたします。つきましては、下記により、ワークショップメンバーを募集いたします。応募規定をご覧のうえ、奮ってご応募ください。

**コメンテーター：佐野 隆弥 氏 (筑波大学)、末廣 幹 氏 (専修大学)**

シェイクスピア・ワークショップは、大学院生を主とする若手研究者に、大学院の枠を超えた知的・学問的交流の場を提供するべく設けられている企画です。

ワークショップは、メンバーがメールによる意見交換を踏まえたうえで、シェイクスピア、あるいは同時代の作家に関する研究発表を行うものです。また、世代の異なるコメンテーターにご参加を願い、複眼的な視野から考察を加えていただくことにより、聴衆にも興味深い企画にしたいと考えております。

**【応募要項】** (締め切り日にご注意ください)

1. 応募者は大学院生、あるいはそれに準ずる者であることといたします。
2. 応募者はA4で1枚(和文1,200字程度)の発表要旨を4部提出してください。
3. 所属、連絡先住所、電話・FAX番号、添付ファイルの送受信が可能な電子メールアドレスを明記した略歴を1部添えてください。
4. 原則として応募者は全員参加としますが、応募状況によっては選考を行う場合もあります。
5. 参加応募締め切りは、**2016年5月末日(消印有効)**です。
6. 郵送先は日本シェイクスピア協会事務局にお問い合わせいたします。
7. 日本シェイクスピア協会会員であること(=当該年度会費納入者)が応募の資格です。

## Martin Ingram 教授セミナーメンバー募集要項

日本シェイクスピア協会は、シェイクスピア没後400周年記念事業の一環として、2016年10月にオックスフォード大学ブレイズノーズ・コレッジの名誉教授 Martin Ingram 先生を招聘し、セミナーを開催することとなりました。大学院生や若手研究者の応募も歓迎します。下記の応募要項をご参照の上、奮ってご応募ください。

### 記

セミナータイトル	Honour and Defamation in Elizabethan Literature
セミナーの目的	近代初期イギリス社会における名誉や名誉毀損の問題を中心に、同時代の文学作品を読み解く。
開催日時	2016年10月11日(火)
開催場所	慶應義塾大学三田キャンパス
応募要項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発表要旨(2,000語程度の英文、書式自由)を2部、事務局に郵送する。</li> <li>2. 応募者の氏名・所属・住所・電話番号・メールアドレスを明記した経歴書を1部添える。</li> <li>3. 応募締切は、2016年6月末日(事務局必着)とする。</li> </ol>
備考	応募数や内容によって、セミナーメンバー数を限ることがあります。

## 2016 年度日本シェイクスピア協会委員候補者推薦会議発足のお知らせ

委員候補者推薦会議議長  
安達 まみ (聖心女子大学)

このたび、日本シェイクスピア協会委員会より 2016 年 10 月から 11 月にかけて行われる予定の委員選挙について、委員候補者推薦会議の議長を委嘱され、非力ですがお引き受けいたしました。

同会議は議長のほか 3 名以上の会議員によって構成されることになっていますが、今回は会議員を次の 3 氏にお願いいたしましたところ、さいわいご承諾いただきました。

勝山 貴之 氏 (同志社大学)  
末廣 幹 氏 (専修大学)  
由井 哲哉 氏 (フェリス女学院大学)

以上の構成員によりこれから選挙に向けての作業を開始いたしますので、どうぞよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

## 委員候補者推薦のお願い

日本シェイクスピア協会  
委員候補者推薦会議

現在、日本シェイクスピア協会委員会は以下の 15 名(会長を含む)によって構成されていますが、そのうち\*印の 7 名が 2017 年 3 月末日をもって委員の任を退きます。

*阿部 曜子 (津田塾大学)	*石橋敬太郎 (岩手県立大学)
井出 新 (会長・慶應義塾大学)	*岩田 美喜 (東北大学)
桑山 智成 (京都大学)	小林 潤司 (鹿児島国際大学)
*小町谷尚子 (慶應義塾大学)	*近藤 弘幸 (東京学芸大学)
篠崎 実 (千葉大学)	清水 徹郎 (お茶の水女子大学)
竹村はるみ (立命館大学)	*野田 学 (明治大学)
廣田 篤彦 (京都大学)	*南 隆太 (白百合女子大学)
山田 雄三 (大阪大学)	

つきましては、日本シェイクスピア協会規約に従い、その後任の選挙を行いますので、以下の要領で委員候補者の推薦をお願いいたします。

1. 書式 別記の書式による
2. 締切り 2016 年 6 月 28 日 (火) 必着
3. 宛先 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 1-2 研究社英語センタービル 3F  
日本シェイクスピア協会委員候補者推薦会議

なお、参考資料として「日本シェイクスピア協会規約」(協会 HP 掲載)をお読みください。とくに次の点にご留意ください。

1. 候補者及び推薦人は日本シェイクスピア協会の会員であることが必要ですが、この場合の「会員」とは、2016 年 10 月 1 日までに 2016 年度の会費を納入した者として(「委員選挙に関する内規」第 7 条[2010 年 4 月 24 日改正]に基づく)。
2. 「会長、委員及び監事の選出に関する規程」第 2 条第 1 項の「満 65 歳を超えたもの」は、委員就任時の年齢を言います。したがって、今回の候補者は 1952 年 4 月 1 日以降生まれの会員ということになります。

3. 今回の選挙の候補者数は、退任予定の委員数7名の1.5倍以上、すなわち11名以上です（「会長、委員及び監事の選出に関する規程」第3条第7項 [1999年10月23日改正]）。
4. 委員退任後、2017年3月末日までに4年以上を経過した会員は候補者となることができません（「会長、委員及び監事の選出に関する規程」第2条第3項 [1999年10月23日改正]）。
5. 今回の選挙について、委員候補者名簿（50音順）を10月初旬に会員に郵送し、10月から11月の委員候補者推薦会議が指定する期間に、候補者名簿と同時に郵送する投票用葉書を用いて、改選される数の委員を選んで○をつける方式の、郵便による投票を行います（「委員選挙に関する内規」第2条[2010年4月24日改正]に基づく）。
6. 今回の選挙では、前回同様、特例によって実施されてきた学会時における直接選挙は行わず、郵便による投票のみとなります。また、10月2日以降（学会時を含む）に会費を納入された会員は投票権を有しないこととなります。円滑な協会運営のためにも、会員の皆様にはなるべく早く会費の納入をお願いいたします。

#### 委員候補者推薦書の様式（記載例）

2017年4月1日就任予定の委員の候補者として、下記の会員を推薦します。

候補者	氏名 <small>ふりがな</small>	(所属) (生年月日)	2016年 月 日
** 推薦人	氏名	(所属)	
	氏名	(所属)	

\*\* 推薦人氏名は5名以上の連記（「会長、委員及び監事の選出に関する規程」第3条第5項）、自署によるものとします。

推薦人になられる方は、会費の納入が終了していることをご確認ください。

#### 日本シェイクスピア協会賛助会員名簿（五十音順）

板橋演劇センター  
 インターナショナル・シアター・カンパニー・ロンドン (ITCL)  
 エディション・シナプス  
 オックスフォード大学出版局  
 オペラシアター・こんにやく座  
 グローバル・リンケージ  
 劇団 昴  
 劇団 山の手事情社  
 研究社  
 ケンブリッジ大学出版株式会社  
 文学座

## 日本シェイクスピア協会奨励賞の創設について

日本シェイクスピア協会では、会員による研究活動を促進すべく、日本シェイクスピア協会奨励賞を設けることとなりました。以下、規程の全文を掲載致します。対象となる会員の皆様には、*Shakespeare Studies* や *Shakespeare Journal* へのご投稿をおすすめいたします。

### 日本シェイクスピア協会奨励賞規程

#### 1. 賞の趣旨

日本シェイクスピア協会は、日本におけるシェイクスピア研究の発展のために、将来が期待される新進の会員による優秀な論文に対して「日本シェイクスピア協会奨励賞」を授与する。

#### 2. 賞の選考

- (1) 本賞は、別に定める「日本シェイクスピア協会奨励賞選考委員会」が、奨励賞にふさわしいと評価した論文に対して授与される。
- (2) 選考対象は、選考の前年度に発行された *Shakespeare Studies* または *Shakespeare Journal* に掲載された論文とする。
- (3) 同一人物が *Shakespeare Studies* と *Shakespeare Journal* に投稿した場合、それぞれの論文を個別に選考の対象とする。

#### 3. 授賞対象 授賞の対象は、以下の条件を満たす者の論文とする。

- (1) 日本シェイクスピア協会会員であること。
- (2) 投稿締め切りの段階で満 37 歳未満であるか、または、修士号取得後 5 年以内であること。
- (3) 過去に日本シェイクスピア協会奨励賞を受賞していないこと。

#### 4. 賞金の授与 本賞受賞論文には、賞金 3 万円を授与する。

附則 本規程は、2017 年度より施行される。

以上

### 国際交流フェローシップ募集のお知らせ

審査時期は 4 月、10 月の年 2 回ですが、規定どおり参加を予定している学会の開催日より 2 ヶ月前以前の応募であれば、審査の対象となり、さかのぼっての支給となる場合もあります。応募要件その他の詳細は本協会のホームページをご覧ください。

### ホームページ掲載内容に関するお知らせ

2013 年度より、以下の内容は原則としてホームページにのみ掲載し、ご要望があった場合は随時、コピーをとってお送りいたしております。

規約全文、シェイクスピア祭報告詳細、学会セミナー報告、シェイクスピア・ワークショップ報告、国際交流フェローシップ応募要項、*Shakespeare Studies* 投稿規程、*Shakespeare Journal* 投稿規程 以上

## 日本シェイクスピア協会事業運営へのご寄附について

日本シェイクスピア協会委員会では、学会開催、*Shakespeare Studies* や *Shakespeare Journal* の刊行などといった協会の事業運営へのご寄附をお願いしております。

平成 27 年 8 月 1 日から平成 28 年 2 月 17 日までに皆様からお寄せいただいたご寄附の総額は 58,020 円となりました。ご寄附いただいた方々のお名前をここにご報告させていただきます、皆様のご理解とご協力に対して心より御礼申し上げます。

寄附者名簿 (50 音順) : 伊藤浩子様、中野春夫様、匿名希望 (以上 3 件)

なお *Shakespeare Newsletter* 2014 (通巻 Vol. 54) No. 2 でもお知らせしましたとおり、平成 26 年度に引き続き平成 27 年度のご寄附は全て協会 55 周年 (シェイクスピア没後 400 周年) 記念行事のためにシェイクスピア基金へ組み入れさせていただきます。

## 2016 年度会費納入のお願い

2016 年度 (2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日) 会費は、一般会員 8,000 円、学生会員 5,000 円です。協会の全ての刊行物は、当該年度の会費納入者のみに送付しております。円滑な協会運営のためにも、6 月末日までの納入をお願い申し上げます。

なお、会費のお支払いは以下の 4 通りの中からご都合のよい方法をお選びください。

- 1) ゆうちょ銀行口座からの自動引き落とし：宛名ラベル下段に自動引き落としと明記されている方は 6 月 6 日 (月) までに口座残高のご確認をお願いいたします。新規でご希望の場合は、事務局までご連絡ください。
- 2) 郵便振替による納入：同封の郵便振替用紙をご利用ください (2016 年度会費の既納者と 2015 年度にて退会希望のご連絡をいただいている方には、郵便振替用紙を同封しておりません)。領収書をご希望の方はその旨、振替用紙表側の通信欄にご記入ください。
- 3) ゆうちょ銀行へのお振り込み (振込手数料は会員の皆様のご負担となります)

ゆうちょ銀行〇一九 (ゼロイチキュウ) 店 (店番号 019)  
当座預金 0033142 ニホンシェイクスピアキョウカイ

- 4) みずほ銀行口座へのお振り込み (送金手数料は会員の皆様のご負担となります)

みずほ銀行 九段支店 普通預金 1671451 一般会計日本シェイクスピア協会

- 注意点
1. ゆうちょ銀行およびみずほ銀行へのお振り込みに際しては、協会に送金通知が届かないため、ご送金後必ず、メール ([shakespeare-japan@nifty.com](mailto:shakespeare-japan@nifty.com)) または FAX (03-3260-8109) で事務局までご連絡ください。領収書をご希望の方はその旨もお知らせください。
  2. 学生会員登録をご希望の方は 5 月末日までに、当該年度の学生証のコピーを FAX、メール、郵送にて事務局までお送りください。特別な事情がある場合を除いて、5 月末日までに学生証のコピーが届かなかった場合は、一般会員として登録し、差額をお支払いいただきます。

<b>NOTICE BOARD</b>
---------------------

◆ 2015年8月17日 *Shakespeare Newsletter* 2015 (通巻 Vol. 55) No. 1 を刊行した。

◆ 2015年8月31日 大会プログラムを発送した(*Shakespeare Newsletter* No. 1 同封)。

◆ 2015年10月10日 第3回定例委員会を北海道教育大学函館校1号館小会議室にて開催した。議題は次の通り。  
1) 第55回シェイクスピア学会概要について、2)奨励賞について。

◆ 2015年10月10日、11日 第54回シェイクスピア学会を北海道教育大学函館校において開催した。詳細についてはホームページをご覧ください。

◆ 2015年10月11日 第10回シェイクスピア・ワークショップを北海道教育大学函館校において開催した。詳細についてはホームページをご覧ください。

◆ 2015年12月5日 第4回定例委員会を慶應義塾大学三田キャンパス北館第一会議室にて開催した。議題は次の通り。

1) 第54回シェイクスピア学会会計報告、  
2) 2016年度シェイクスピア祭について、  
3) 第55回シェイクスピア学会について、  
4) Martin Ingram 教授セミナーについて、その他。

◆ 2016年2月20日 *Shakespeare Newsletter* 2015 (通巻 Vol. 55) No. 2 を刊行した。

◆ 2016年2月20日 『日本シェイクスピア協会簡易会員名簿 2015』を刊行した。本誌に同封して発送。

◆ 2016年2月29日 *Shakespeare Studies* Vol. 53 を刊行予定。

◆ 2016年3月3日 *Shakespeare Studies* Vol. 53、*Shakespeare Newsletter* 2015、『簡易名簿 2015』を発送予定。

◆ 2016年3月15日 *Shakespeare Journal* Vol. 2 (通巻 Vol. 55) を刊行予定。

◆ 2016年3月20日 *Shakespeare Journal* Vol. 2 (通巻 Vol. 55) を発送予定。

***Shakespeare Journal* ならびに *Shakespeare Studies*  
応募用メールアドレス変更のお知らせ**

2016年度より、応募原稿送信先は以下のように変更になります。

*Shakespeare Journal* 応募用 : ssj-journal@nifty.com  
*Shakespeare Studies* 応募用 : ssj-studies@nifty.com

詳細はホームページをご覧ください。

**SHAKESPEARE NEWSLETTER**

日本シェイクスピア協会会報  
2015 (通巻 Vol. 55) No. 2

2016年2月20日 発行  
編集 日本シェイクスピア協会  
発行人 井出 新  
発行所 東京都新宿区神楽坂 1-2  
研究社英語センタービル 3F  
日本シェイクスピア協会  
印刷 佐藤印刷株式会社  
◎ 日本シェイクスピア協会 2016